



〒108-0071

港区白金台 3-7-1
(3443)
5666



<http://s.hirokanedai-kg.minato-ky.ed.jp/>

3歳児、5歳児と園庭探検



みんなの池
オタマジャクシ
がいっぱい



自然からの学び

園長 新井 智子

梅雨の訪れが間もないこの頃。「みんなのいけ」は2種類のオタマジャクシとメダカが群れを成して泳いでいます。少し見ない間に黒くまるまると大きくなっていました。水草や枯れ葉を縫うようにスイスイと泳ぐ姿に、たくましさを感じます。保育室のオタマジャクシは、手が出た、足が出たと報告を受けますが、池のオタマジャクシは、じっくりと養分を体内に蓄え成長の時を待っているようです。

子どもたちは、森に出掛け枯れ葉や丸太をひっくり返して虫を見付けたり、桑の実をとって水の中で色を出し実験と称して遊んだりしています。この時期は、さまざまな生物が子どもたちに発見の喜びや自然への興味・関心をもたらします。自然界の様々な営みや命に触れ、育ちや変化の過程を見て子どもたちは学び、好奇心を満たしていきます。野菜の苗がすくすくと生長していく嬉しさ、青虫がアゲハチョウになる喜びは、子どもたちの自然への関心を高めていくことなのでしょう。しかし、自然の教えは、期待や喜びだけではありません。手のひらにのせ大事にしていた花が枯れたり、ダンゴムシが死んでいたり生あるものの最後に出会うことがあります。子どもたちは、残念さと悲しさを「動かなくなった、枯れてしまった」現実と向き合っ感じ取り、生物の命の有限性を知ります。限りがあるからこそ大切にすることや世話をしたり守ってあげたりするやさしさを日々の生活の中で学んでほしいと思います。また、人間の都合で駆除される虫がいること、抜かれる草があることなど不条理さも日々の中で感じることでしょう。それは、きっと、自分や人の命の尊さや、自然の摂理の尊厳につながっていくものだと思います。

池の中の様々な自然の有機物を吸収して、じっくりと大きくなっているオタマジャクシのように、子どもたちも、じっくりと物事に向き合い、大切なことを感じ取り、心の軸を太くしてほしいと思います。

< 6月の指導のねらい >

3歳児

- 所持品の始末や着替え、遊んだ後の片付けなど、幼稚園の生活で必要なことが分かり、教師に見守られながら自分でしようとする。
- 自分のしたい遊びや楽しそうな場所を見つけて、教師や友達と遊ぶことを楽しむ。
- クレパスやのり、絵の具を使った製作や新しいダンスなど、いろいろな活動に参加して楽しむ。



4歳児

- 友達と関わって遊ぶ中で、自分の思いを動きや言葉で伝えようとする。
- みんなで取り組む活動に喜んで参加し、友達と同じ動きをしたり触れ合ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 身近な自然物を取り入れたり、栽培物の生長に関心をもって世話をしたりすることを楽しむ。

5歳児

- イメージを出し合いながら、遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
- 共通のめあてに向かって学級の友達と一緒に取り組み、みんなのできた喜びや満足感を感じる。
- 身近な自然や栽培物を見たり世話したりし、面白さや変化に気付く。

